# ディプロマ・ポリシー 国際学部

#### 【国際学部】

国際学部では、本学のミッションステートメントとディプロマ・ポリシーのもと、神戸女学院の教育の3つの柱をふまえ、特にそのひとつである「国際理解の精神」に基づいて、他者との共生を志し、英語力を活かして、豊かな感性と深い批判的思考力をもって、地域社会や国際社会に貢献できる人材を養成するため、次の能力の修得を教育研究上の目的とします。

- 1. 言語・文化・文学・社会・経済・政治に関わる専門分野の知識と技能を備え、専門分野における問題を理解し解決する力2. 豊かな教養と広い視野で、文化や社会の諸問題を複合的に捉え、ものごとの本質を見きわめる力
- 3. 自ら課題を設定し取り組む主体性・創造性と、それを的確に伝える力
- 4. 母語および英語の高い運用能力と異文化理解力を備え、多様な背景をもつ他者と共感・共生する力
- 5. グローバル市民として、またグローバル社会の一員としての高い倫理意識を備え、置かれた場において役割を果たすべく自らを高め、グローバルに発信していく力

#### <学位取得の要件>

国際学部では、以上の能力を修得し、その成果を集約した卒業論文・プロジェクトを提出した学生に対して、学士(国際学)の学 位を授与します。

#### 【英語学科】

英語学科では、国際学部で修得することが期待される能力の具現化として、英語力を活かして知性と感性をバランスよく最大限に 発揮し、地域社会、国際社会の場を問わず、責任ある行いができる人材を養成するため、次の能力の修得を教育研究上の目的とし ます。

- 1. 英語を用いて複数の専門分野を学ぶことで、異なる文化や意見をもつ人々への共感性を高め、現代社会の諸問題や、それらを引き起こす人間の本質について深く理解する力
- 2. グローバル市民として人権を尊重し、社会、言語、文化に関する様々な意見から自らの意見を紡ぎ出し、それを論理的に発信できる高度な英語力
- 3. 英語を駆使して選び出した質のよい情報を基に、現実を多角的にとらえ、人々と共に柔軟に問題解決をし、最善の選択を行うことができる力
- 4. 英語でキャリア構築(教職、通訳、留学、大学院進学、企業勤務など)を可能とする「使える英語」を身に付け、自らの人生を切り拓く力
- 5. 少人数で英語による質の高い教育を受けることで身に付けた深い知見と独創性を基に社会の流れを変える(Change Maker)カ

# <学位取得の要件>

以上の能力を修得し、その成果を集約した卒業論文・プロジェクトを含む卒業要件を満たす学生に対して、学位を授与します。卒 業論文は担当教員が審査し、学内公開の卒業論文発表会において学修成果の確認を行います。

#### 【グローバル・スタディーズ学科】

グローバル・スタディーズ学科では、国際学部で修得することが期待される能力の具現化として、多様な背景をもつ人々との協働 を可能にする、知識、感覚、実践力を備えた「グローバル市民」を養成するため、次の能力の修得を教育研究上の目的とします。 また卒業論文を含む全課程の被教授言語を英語中心とします。

- 1. グローバル化が進む現代社会の諸相およびグローバル問題群についての知識と議論を深め、これらと冷静に向き合い判断するカ
- 2. 自らを含む「多様な背景をもつ人びと」の人権を尊重し、「グローバル市民」としての自覚をもった対話(コミュニケーション)力

### <学位取得の要件>

以上の能力を修得し、その成果を集約した卒業論文・プロジェクトを含む卒業要件を満たす学生に対して、学位を授与します。卒 業論文は担当教員が審査し、学内公開の卒業論文発表会において学修成果の確認を行います。

# カリキュラム・ポリシー 国際学部

#### 【国際学部】

国際学部では、本学のミッションステートメントとカリキュラム・ポリシーのもと、神戸女学院の教育の3つの柱をふまえ、本学部ディプロマ・ポリシーに 定めた能力をもつ人材を養成するため、英語学科とグローバル・スタディーズ学科の2学科をおき、以下の方針に基づいてカリキュラムを編成します。

- 1. 多角的で柔軟なものの見方を養成し、英語で受信発信できるよう英語力を強化すること。また、学科、専門領域ごとに体系的な「メジャー科目」を設置
- し、基礎から応用まで段階的に専門性を高めること。
- 2. 専門領域の学びによって習得した知識・技能をもとに、主体的に問題を設定・解明し、それを人に伝える能力を養うため、少人数ゼミによる指導をおこない、英語による卒業論文・プロジェクトの作成を課すこと。
- 3. 実践的な応用力、判断力、行動力を身につけるため、フィールドでの学びや体験型の学びを促進する科目やプログラムを設置すること。
- 4. 国際理解と国際対話の能力を養うため、「コア科目」と「メジャー科目」を通じて高度の外国語運用能力を養成し、言語文化への理解を深める科目やプログラムを設置すること。
- 5 専門的知識と結びついたキャリア形成のため、キャリア意識を高める科目やプログラムを設置すること。
- 6. キリスト教精神にもとづく人間理解をはぐくみ、グローバル市民に必要とされる素養を培うため、また国際学部の専門分野を学ぶ基礎力をつけるために 「コア科目」の履修を課し、広い視野と総合的な判断力の獲得のために「クローバーゼミ」や「オープン科目」の履修を課すこと。
- 7. 他学部・他学科の学生に向けて、 言語・文化・文学・社会・経済・政治に対する多角的かつ国際的な関心と理解を深めるための「オープン科目」や「マイナープログラム」を設置すること。

#### 【英語学科】

英語学科では、本学科ディプロマ・ポリシーに定めた能力をもつ人材を専門科目教育をとおして養成するため、以下の方針に基づいてカリキュラムを編成します。

- 1. 英語で多様な専門分野の基礎知識を習得できるように、次のa~eの5つの柱(a. 英米文学文化、b. 言語科学、c. 通訳・翻訳・コミュニケーション、d. 英語スキルおよび中学校・高等学校英語教員資格取得、e. 留学できるレベルの英語を使った体験学習)を基本とした科目を設置します。本学科内の「メジャー科目」は原則、英語で授業を行い、学生は初年次から入門科目をすべて履修します。
- 2. 英語4技能を段階的、効果的に高めるため、初年次の英語必修科目「英語 I」、「英語 II」は14名までの少人数クラスとします。論理的で明確な英語発信能力養成のため、英語プレゼンテーションや英語エッセイ・ライティングを学ぶ必修科目「英語 III」、選択科目「上級英作文」を2年次に設置します。また学生各々の英語学習目標の達成を支援するため、English Proficiency、「通訳・翻訳プログラム」、中学校・高等学校英語教員資格取得のための科目群などを設置します。
- 3. 自らが選んだテーマに関して問題を発見し、それを指導教員やゼミ仲間との知的対話やリサーチによって解決していく力を培うため、15名程度を上限と する2年間のゼミを3年次より設置します。学生はゼミ活動をとおし、英語で5000ワード以上の卒業論文・プロジェクトを作成し発表します。
- 4. 実社会で人々と協力し、創造的な働きを続けられる人間力を鍛えるため、海外インターンシップ、外部講師による学会やシンポジウムの開催、翻訳ワークショップ、字幕翻訳プロジェクト、通訳実地演習、近隣小学校への英語授業のアウトリーチなど、多彩なアクティブ・ラーニング授業を展開します。研究者を目指す学生には、国内外の大学院進学に備えた指導を行います。
- 5. 本学科「メジャー科目」の履修と並行して、キリスト教精神と、社会貢献に必要な教養を身につけるため、「全学コア科目」や「オープン科目」を履修 します。学生は英語学科の専門分野を主専攻(メジャー)としながら、他学科提供の「オープン科目」から一つの分野を一定単位履修することで、その分野 を副車攻(マイナー)とすることができます。
- 6. 他学部、他学科生が高い英語力を用いて、社会、言語、文化に関する多角的知識を身につけられるように、オープン科目群を設置します。

#### <科目体系・番号・カリキュラムマップなど>

上記方針に基づく科目編成においては、体系性・系統性の理解を促すため、学問分野、科目間の連携や科目内容の難易度を表す科目番号および、必修科目、選択必修科目、選択科目などについての科目記号を学修便覧等につけ、なおかつ、教育課程の構造をカリキュラム・マップやカリキュラム・ツリーで分かり やすく明示します。

## 【グローバル・スタディーズ学科】

グローバル・スタディーズ学科では、本学科ディプロマ・ポリシーに定めた能力をもつ人材を養成するため、以下の方針に基づいてカリキュラムを編成します。

1. 1年~4年次の課程を、基礎―知識―方法―実践―創造の流れで展開します。

「基礎」:言語・情報の各リテラシーを確立するとともに、グローバル・スタディーズ概論を学びます。

「知識」:グローバル化する政治、経済、社会、文化の諸相を理論的枠組みから学び、批判的思考力を習得します。

「方法」:資料分析、質的調査、量的調査の手法を習得します。

「実践」: 大学キャンパス、地域社会、国際社会での実践的学びを通じて、「グローバル市民」としての自覚と協働する力を養います。具体的には、留学生 と国内学生がキャンパスで共に学び、多様な背景をもつ人々が共に暮らす地域社会のモデルを自ら形成します。さらには留学や国内外インターンシップを通 じて国際社会と積極的な関わりを持つようになります。実施にあたっては、担当教員指導のもとで履修生が学びの企画から担います。

「創造」:各自がトピックを設定し、学びを集約したかたちでの卒業論文・卒業プロジェクト(実践報告や制作活動)として発信します。

- 2. 「グローバル・スタディーズ」の教育内容を明示するために、Cultural StudiesとSustainability Studiesの 2 つの領域によって構成します。各学生は両方の領域をパランスよく学びます。
- 3. 「国際学部共通教育」として英語4技能の向上を目指します。また通訳・翻訳プログラムの履修が可能です。
- 4. 「全学コア科目」と「オープン科目」を含むリベラルアーツ教育を通じて、全人教育による教養と広い視野を身につけます。

### <科目体系・番号・カリキュラムマップなど>

上記方針に基づく科目編成においては、体系性・系統性の理解を促すため、学問分野、科目間の連携や科目内容の難易度を表す科目番号および、必修科目、 選択必修科目、選択科目などについての科目記号を学修便覧等につけ、なおかつ、教育課程の構造をカリキュラム・マップやカリキュラム・ツリーで分かり やすく明示します。

# アドミッション・ポリシー 国際学部

### 【国際学部】

国際学部では、本学のミッションステートメントと本学・本学部のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーをよく理解し、本学部の教育課程を履修するために必要な基礎学力を備えた人を受け入れます。とりわけ、以下にあてはまる人を歓迎します。

- 1. 世界の文化や社会の問題に強い関心があり、主体的に関わる志をもつ人
- 2. 複数の学問分野を学び、事象を多角的に捉える姿勢を身につけたい人
- 3. 高度の言語運用能力と専門知識を身につけて、社会に貢献したい人

#### 【英語学科】

英語学科では、本学科のディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーをよく理解し、本学科の教育課程を履修するために必要な基礎学力および英語コミュニケーション能力を備えた人を受け入れます。とりわけ、以下にあてはまる人を歓迎します。

- 1. 専門性の高い学びの成果を発信することでコミュニケーション能力を高めたい人
- 2. 教室と社会、国と国、バーチャルとリアル、といったさまざまな垣根を超えて、異なる文化、考えをもつ他者を尊 重し、思いやる人間性をもつ人
- 3. 社会で人々と繋がり、協働していくため、語学力に加え論理的な思考力と表現力を習得したい人
- 4. 新しい時代の多くの可能性に「英語で」挑戦するため、生涯にわたって自主的に学習できる方法と能力を身につけたい人
- 5. 英語を使って、自分の人生だけでなく世界や社会を変えたい人(Game Changer)

#### <実施する入試>

英語学科の教育を深く理解し、本学科で英語力および人間力を磨きたい人を受け入れるため、学校推薦型選抜、推薦入学試験を実施します。また多様な才能と経験をもつ人を受け入れるため、総合型選抜、帰国子女入学試験、社会人入学試験、外国人留学生入学試験、国際バカロレア入学試験を実施します。国際社会への関心と、確かな英語基礎力、思考力・判断力・表現力を備えた人を広く受け入れるため、一般選抜(前期日程、後期日程)、大学入学共通テストを利用する入学試験(前期日程、後期日程)を実施します。一般選抜(前期日程、後期日程)において英語資格試験利用型を実施します。

### 【グローバル・スタディーズ学科】

グローバル・スタディーズ学科では、本学科のディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーをよく理解し、本学科 の教育課程を履修するために必要な基礎学力および言語能力(英語・日本語)を備えた人を受け入れます。とりわけ、 以下にあてはまる人を歓迎します。

- 1. 言語、思考、態度において、多様な背景をもつ他者との対話力を習得したい人
- 2. 将来、グローバル社会に貢献する働きをしたい人
- 3. 日本の大学での学位取得を目指す留学生

# <実施する入試>

グローバル・スタディーズ学科で学びたい人を国内外から広く受け入れるため、総合型選抜、帰国子女入学試験、外国 人留学生入学試験、国際バカロレア入学試験を実施します。また国際社会への関心と問題意識を備えた人を広く受け入 れるため、学校推薦型選抜(指定校、特別指定校、公募制)、一般選抜、大学入学共通テストを利用する入学試験を実 施します。各試験においては英語資格試験(および日本語を母語としない留学生には日本語能力検定試験)利用型入学 試験を実施します。